

2019年2月通常会議 補正予算案に対する討論

2019年3月20日

杉浦 智子

私は日本共産党大津市会議員団を代表して、ただいま議題となっております、議案第52号 平成30年度大津市一般会計補正予算（第7号）
議案第65号 平成30年度大津市ガス事業会計補正予算（第2号）
に対する反対討論を行います。

まず議案第52号についてです。

本補正予算には、障がい者や障がい児福祉サービス費や民間保育園運営費、生活保護費、予防接種費など対象見込みの増による精査や国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各事業会計への繰出金の増額、国の補正予算を活用した幼稚園遊戯室などへの空調設備の整備に要する経費などが計上されていますが、必要な予算の充当であると考えます。

一方将来世代への負担軽減、今後の財政需要の増高への備えとして、市債の繰り上げ償還費を増額しますが、市の借金を減らすことを否定するものではありませんが、それを優先することよりもむしろ市民生活を支える福祉施策の充実のために予算を使うべきと考えますので、本補正予算に反対します。

次に議案第65号についてです。

本補正予算は、原料価格の下落に伴う減額と、ガス小売事業に公共施設等運営権制度、いわゆるコンセッション方式を導入し、官民連携の出資会社を設立することに伴う運営権対価の受入などによる関連経費の精算を行おうとするもので、市民の財産を使って民間企業に儲けさせ、将来的な事業運営の継続性についても不透明なコンセッション方式の導入そのものに反対することから本補正予算には反対します。